

論文審査の要旨  
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 ( 学 術 )	氏名 Author	MAHAMA TIAH ABDUL-KABIRU
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論 文 題 目 Title of Dissertation A Study on the Linkage between Livelihood and Welfare of Households in Ghana			
論文審査担当者 Dissertation Committee Member			
主 査 Committee Chair	Maharjan, Keshav Lall	広島大学大学院国際協力研究科 教授	印 Seal
審査委員 Committee	金 子 慎 治	広島大学大学院国際協力研究科 教授	
審査委員 Committee	吉 田 雄一朗	広島大学大学院国際協力研究科 教授	
審査委員 Committee	柿 中 真	広島大学大学院国際協力研究科 教授	
審査委員 Committee	中 矢 礼 美	広島大学大学院国際協力研究科 准教授	
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本論文では、ガーナにおける世帯の生活と福祉のリンケージに関する諸問題について、人々の日常生活における脆弱性を包含する生活戦略に着目し、生活戦略の多様性の規定要因において、気候変動の影響、マクロ・ミクロレベル等における諸説及び計量分析方法論に関する最新研究の整理の上、適切に研究課題が設定されている。そして、ガーナにおける生活水準に関する統計資料活用し、農村経済学、地域研究、福祉政策の視野に立った計量分析によって導かれている結果は高く評価できる。</p> <p>本論文は7章から構成され、以下のようになっている。</p> <p>序 章：研究の背景、課題と制約 第2章：先行研究のレビュー 第3章：研究概念、課題、分析のフレームワーク、方法論の説明 第4章：ガーナにおける生活関連アセット・ペンタゴン及び世帯の資産と生活戦略の分析 第5章：ガーナにおける生活上の満足度と世帯の福祉における相関性の分析 第6章：ガーナにおける生活戦略と世帯の福祉・貧困状況に関する分析 終 章：結論</p> <p>その内容、1) 人々の生活上の満足度、生活資産、生活戦略及び内外の規定要因に関する独自の概念を提示し、同概念を基にした分析枠組みを構築し分析を進めたこと。2) ガーナにおける基礎データに基づきアセット・ペンタゴンの性格を把握し、主成分分析によって生活に寄与度の高いアセット＝資産を算定し、二重ハードルモデル分析によって世帯の資産と生活戦略の関連性を明らかにしたこと。3) 一般化順序ロジットモデル (GOLM) によって生活戦略と満足度との相関を明示したこと。4) 二つのセンサスデータを活用し Foster Greer Thorbecke (FGT) 指標を用いた分析によって世帯の福祉・貧困状況の動態的側面を明示し、貧困削減対策として世帯当たり向上させるべき所得額を具体的に算定すると同時に、生活戦略の多様性について地域、世帯の資産、就業形態に規定されることを明示したこと。とりわけ、既存の研究と異なる独自のファインディングとして「世帯の福祉において自由度の高い就業形態が一番の規定要因になっている」ことを明らかにしたこと。5) 研究成果の一部は内外で査読付学術論文(3本 (1本 IF付き))として、また一部はアジア農業経済学会及び地域農林経済学会等で口頭発表されていること (計4本)、さらに一部は2018年8月1日に国際農業経済学会カナダ大会で口頭発表し、その内容を同学会のIF付き雑誌に投稿するよう推薦されたこと。6) これまでの研究を踏まえ、主要な資産を基にした生活枠組みの構築、世帯における多様な生活戦略による多様な福祉及びその規定要因について体系的にとらえる独自の理論構築を模索していること等は高く評価された。</p> <p>以上の結果、試験委員全員一致で、申請者が博士(学術)の学位を授与されるに十分な学識と能力を有しているものと認め、合格と判定した。</p>			